

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 北海道財務局長

【提出日】 平成24年2月10日

【四半期会計期間】 第14期第1四半期(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

【会社名】 株式会社メディカルシステムネットワーク

【英訳名】 MEDICAL SYSTEM NETWORK Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 田尻 稲雄

【本店の所在の場所】 札幌市中央区北十条西二十四丁目3番地

【電話番号】 011(612)1069(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役財務部長 平島 英治

【最寄りの連絡場所】 札幌市中央区北十条西二十四丁目3番地

【電話番号】 011(612)1069(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役財務部長 平島 英治

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第13期 第1四半期 連結累計期間	第14期 第1四半期 連結累計期間	第13期
会計期間	自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日	自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日	自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日
売上高 (千円)	11,575,815	12,746,908	46,508,494
経常利益 (千円)	547,418	760,776	2,139,570
四半期(当期)純利益 (千円)	218,650	283,538	1,001,455
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	266,227	328,100	1,157,273
純資産額 (千円)	4,421,402	5,405,105	5,263,292
総資産額 (千円)	23,348,195	26,276,076	24,533,921
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	33.68	43.67	154.25
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	17.6	19.0	19.9

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 第13期第1四半期連結累計期間及び第13期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 第14期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

4. 第13期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について重要な変更はありません。

なお、主要な関係会社の異動については、以下のとおりであります。

当社連結子会社である株式会社ファーマホールディングが、平成23年11月1日に有限会社佐伯薬局の全株式を取得し、同社を連結子会社化するとともに、株式会社九州ファーマシーへと商号を変更いたしました。

名称	住所	資本金又は 出資金 (千円)	主要な事業 の内容	議決権の所有 (被所有)割合 (%)	関係内容
(連結子会社) 株九州ファーマシー	熊本県熊本市	50,000	調剤薬局事業	100.0 (100.0)	受発注取引

(注) 1. 「主要な事業の内容」欄には、セグメントの名称を記載しております。

2. 「議決権の所有(被所有)割合」欄の(内書)は、間接所有であります。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における業績は、主力事業である調剤薬局事業が順調に推移したことから、売上高12,746百万円（前年同四半期比10.1%増）、営業利益787百万円（同37.2%増）、経常利益760百万円（同39.0%増）となりました。法人税率の引下げに伴う繰延税金資産の取り崩しにより税金費用が増加したことから、四半期純利益は283百万円（同29.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

医薬品等ネットワーク事業

本事業に関しましては、中小薬局の新規加盟件数が順調に伸びたことに伴い受発注手数料収入が増加したこと等により、売上高は631百万円（前年同四半期比26.8%増）、営業利益289百万円（同18.3%増）となりました。

なお、平成23年12月31日現在の医薬品ネットワーク加盟件数は、調剤薬局788店舗、16病・医院の合計804件（前連結会計年度末比64件増）となりました。

調剤薬局事業

本事業に関しましては、当第1四半期連結累計期間に調剤薬局2店舗を新規出店し、6店舗をM & Aにより取得しました。また、ドラッグストア2店舗の新規出店を行った結果、平成23年12月31日現在の店舗数は、調剤薬局222店舗（休止中の1店舗を除く）、ケアプランセンター1ヶ所、ドラッグストア11店舗となりました。既存店舗の売上が堅調に推移したことにより、売上高は12,227百万円（前年同四半期比9.6%増）、営業利益730百万円（同38.1%増）となりました。

賃貸・設備関連事業

本事業に関しましては、「高齢者専用賃貸住宅 ウィステリアN17」の運営が順調に推移したこと、不動産賃貸収入が増加したこと等により、売上高は246百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益27百万円（同1.6%増）となりました。

その他事業

本事業に関しましては、株式会社エスエムオーメディシスが治験施設支援業務を行っております。本事業の売上高は55百万円（前年同四半期比3.6%減）、営業損失5百万円（前年同四半期は6百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は26,276百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,742百万円増加しました。

流動資産は8,982百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,195百万円の増加となりました。主な要因は、売掛金及び商品の増加によるものです。固定資産は17,293百万円となり、前連結会計年度末に比べ546百万円の増加となりました。主な要因は、調剤薬局建設用地等の取得による土地及びのれんの増加によるものです。

負債の部は20,870百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,600百万円増加しました。流動負債は12,546百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,746百万円の増加となりました。主な要因は、買掛金及び短期借入金の増加によるものです。固定負債は8,324百万円となり、前連結会計年度末に比べ145百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金の減少によるものです。

また、純資産の部においては、5,405百万円となり、前連結会計年度末に比べ141百万円の増加となりました。主な要因は利益剰余金の増加によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発活動は、医薬品等ネットワーク事業の株式会社システム・フォーにおいて、既存の調剤システム「PHARMACY ACE」の後継機の開発に向けて、事前の情報収集活動を実施している状況であります。従って、当第1四半期連結累計期間において、研究開発費は発生しておりません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	18,000,000
計	18,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年2月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,492,400	6,492,400	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株で あります。
計	6,492,400	6,492,400	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日		6,492,400		1,091,001		889,008

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が把握できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成23年9月30日現在で記載しております。

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,491,600	64,916	-
単元未満株式	普通株式 600	-	-
発行済株式総数	6,492,400	-	-
総株主の議決権	-	64,916	-

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社メディカル システムネットワーク	札幌市中央区北十条西二十四 丁目3番地	200	-	200	0.00
計	-	200	-	200	0.00

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,329,057	1,862,633
売掛金	2,238,445	2,511,026
債権売却未収入金	710,336	739,363
調剤報酬等購入債権	650,286	623,481
商品	1,710,450	2,126,848
仕掛品	22,666	23,158
貯蔵品	43,288	47,205
繰延税金資産	450,203	250,908
その他	634,149	800,882
貸倒引当金	1,982	3,125
流動資産合計	7,786,901	8,982,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,596,431	3,670,495
土地	4,370,294	4,466,041
建設仮勘定	13,328	49,665
その他(純額)	1,182,577	1,312,414
有形固定資産合計	9,162,631	9,498,616
無形固定資産		
のれん	4,900,633	5,056,544
ソフトウェア	29,731	24,769
その他	52,184	51,496
無形固定資産合計	4,982,548	5,132,811
投資その他の資産		
投資有価証券	38,825	36,730
差入保証金	1,471,299	1,481,367
繰延税金資産	833,327	861,364
その他	302,395	326,515
貸倒引当金	44,008	43,713
投資その他の資産合計	2,601,839	2,662,265
固定資産合計	16,747,020	17,293,693
資産合計	24,533,921	26,276,076

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,026,046	5,722,769
短期借入金	1,099,000	2,313,000
1年内返済予定の長期借入金	960,143	986,661
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
未払法人税等	590,219	144,361
繰延税金負債	-	224
賞与引当金	556,302	291,416
ポイント引当金	8,751	10,368
店舗閉鎖損失引当金	75,932	75,932
その他	2,434,129	2,952,037
流動負債合計	10,800,524	12,546,771
固定負債		
社債	150,000	125,000
長期借入金	6,404,570	6,162,643
繰延税金負債	943	812
退職給付引当金	577,843	620,323
役員退職慰労引当金	234,769	246,746
その他	1,101,978	1,168,674
固定負債合計	8,470,104	8,324,200
負債合計	19,270,629	20,870,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,091,001	1,091,001
資本剰余金	924,438	924,438
利益剰余金	2,924,311	3,045,545
自己株式	156	199
株主資本合計	4,939,595	5,060,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,470	9,366
繰延ヘッジ損益	50,503	49,380
その他の包括利益累計額合計	57,973	58,746
少数株主持分	381,670	403,066
純資産合計	5,263,292	5,405,105
負債純資産合計	24,533,921	26,276,076

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	11,575,815	12,746,908
売上原価	7,532,865	8,186,765
売上総利益	4,042,949	4,560,142
販売費及び一般管理費	3,468,926	3,772,495
営業利益	574,022	787,647
営業外収益		
受取利息及び配当金	121	768
業務受託料	7,424	18,849
受取手数料	6,085	-
設備賃貸料	-	7,445
雑収入	15,035	6,341
営業外収益合計	28,667	33,405
営業外費用		
支払利息	52,902	56,437
雑損失	2,369	3,838
営業外費用合計	55,271	60,275
経常利益	547,418	760,776
特別利益		
固定資産売却益	200	1,935
貸倒引当金戻入額	785	-
受取補償金	-	13,832
特別利益合計	986	15,767
特別損失		
固定資産除却損	198	4,568
投資有価証券売却損	4,000	-
事務所移転費用	2,047	-
店舗閉鎖損失	1,062	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	36,880	-
特別損失合計	44,188	4,568
税金等調整前四半期純利益	504,215	771,976
法人税、住民税及び事業税	123,924	152,715
法人税等調整額	126,139	290,377
法人税等合計	250,064	443,093
少数株主損益調整前四半期純利益	254,151	328,883
少数株主利益	35,501	45,344
四半期純利益	218,650	283,538

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	254,151	328,883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,634	1,905
繰延ヘッジ損益	8,440	1,123
その他の包括利益合計	12,075	782
四半期包括利益	266,227	328,100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	230,726	282,765
少数株主に係る四半期包括利益	35,501	45,335

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)	
(1)連結の範囲の重要な変更	連結子会社である株式会社ファーマホールディングが平成23年11月1日に有限会社佐伯薬局の株式を全て取得し、同社を間接所有子会社としたため、新たに連結の範囲に含めております。 なお、有限会社佐伯薬局は平成23年11月1日に株式会社九州ファーマシーに商号変更しております。
(2)変更後の連結子会社の数	13社

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)	
当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)
減価償却費	146,176千円	170,462千円
のれんの償却額	83,522千円	88,541千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年12月16日 定時株主総会	普通株式	116,863	18	平成22年9月30日	平成22年12月17日	利益剰余金

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年12月16日 定時株主総会	普通株式	162,304	25	平成23年9月30日	平成23年12月19日	利益剰余金

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医薬品等 ネット ワーク事 業	調剤薬局 事業	賃貸・設備 関連事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	199,529	11,158,854	160,063	57,367	11,575,815	-	11,575,815
セグメント間の内部 売上高又は振替高	298,356	807	75,872	-	375,035	375,035	-
計	497,885	11,159,662	235,935	57,367	11,950,851	375,035	11,575,815
セグメント利益 又は損失()	244,845	528,697	26,721	6,783	793,481	219,458	574,022

(注) 1. セグメント利益の調整額 219,458千円には、セグメント間取引消去 22,487千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 198,326千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医薬品等 ネット ワーク事 業	調剤薬局 事業	賃貸・設備 関連事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	299,163	12,227,104	165,321	55,319	12,746,908	-	12,746,908
セグメント間の内部 売上高又は振替高	332,355	884	81,258	-	414,498	414,498	-
計	631,518	12,227,989	246,579	55,319	13,161,407	414,498	12,746,908
セグメント利益 又は損失()	289,762	730,097	27,144	5,836	1,041,167	253,520	787,647

(注) 1. セグメント利益の調整額 253,520千円には、セグメント間取引消去 42,322千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 211,198千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	33円68銭	43円67銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	218,650	283,538
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	218,650	283,538
普通株式の期中平均株式数(株)	6,492,400	6,492,163

(注) 1. 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月2日

株式会社メディカルシステムネットワーク

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 竹内弘雄 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 香川 順 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社メディカルシステムネットワークの平成23年10月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成23年10月1日から平成23年12月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年10月1日から平成23年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社メディカルシステムネットワーク及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。